



エジプトの治安について

今回訪問するカイロやギザの周辺と、ルクソールからアブシンベルまでのナイル川沿いは、外務省の海外安全情報の危険度のレベルは1に指定されています。(地図参照) これは、インド、ネパール、スリランカ、カンボジアと全く同じです。エジプトは観光大国なので、政府は観光客が戻ってくるように、治安の維持にかなり力を入れています。空港でのセキュリティチェックは厳重に繰り返され、観光地では手荷物検査はもちろんの事、バスや車に積んでいるスーツケースも検査の対象になります。また、ホテルでも同様の検査があります。そして、観光地や街中には至る所に監視カメラがあり、厳しくチェックされています。そのため、ここ数年は大きな問題も起こらず、観光客も毎年2～3割ずつ増えてきています。

それに加え、弊社の旅行ではより安心してご参加頂く為に、移動および観光中は全てツーリストポリスが同行します。また、観光の直前には、現地会社のスタッフもしくは民間の警備会社が安全の下見をします。

バスのルートも、エジプト内務省が定めたルート以外は走りません。バスにはGPSが搭載されており、内務省が常に把握できるシステムを導入しております。

また、外務省が提供する「たびレジ」というサービスがあり、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受け取れるシステムです。添乗員は必ずこのサービスに登録し、外務省や在エジプト日本国大使館が出す緊急一斉通報や最新安全情報を逐一受信できるようにしてご案内させていただきますので、安心してご参加ください。